

第 2 期喜多方市総合戦略の基本目標における効果検証について  
—令和 2 年度—

## 1 総合戦略基本目標

本市まち・ひと・しごと創生の目指すべき将来の方向として、「第 2 期喜多方市総合戦略」では下記の 6 つの基本目標を掲げている。

基本目標 1 安定した雇用を創出する（しごと）

基本目標 2 新しいひと・資金の流れをつくる（ひと）

基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（ひと）

基本目標 4 安心な暮らしを守るとともに、周辺地域や民間との連携を図る（まち）

基本目標 5 将来を担う多様な人材を育成・確保する（ひと）

基本目標 6 将来を見据えた魅力的なまちをつくる（まち・ひと・しごと）

## 2 実績値（令和 2 年度）の目標値（令和 6 年度）に対する K P I 進捗状況（基本目標ごと）

基本目標における数値目標と各施策の K P I については、全体で 6 1 指標あり、うち「順調に推移」しているものは 2 5 指標（41.0%）、「努力が必要」なものは 3 6 指標（59.0%）となっている。

進捗状況	全体	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6
順調に推移 (進捗率が 20%以上)	2 5	4	7	2	8	2	2
割合 (%)	(41.0)	(28.6)	(58.3)	(28.6)	(50.0)	(33.3)	(33.3)
努力が必要 (進捗率が 20%未満 (減少なども含む))	3 6	1 0	5	5	8	4	4
割合 (%)	(59.0)	(71.4)	(41.7)	(71.4)	(50.0)	(66.7)	(66.7)
合計	6 1	1 4	1 2	7	1 6	6	6

### 進捗率の考え方・算出方法

各年度の実績値が初期値、目標値に対してどれだけ進捗が図られたか（増減があったか）を示す割合。  
なお、算出方法は下記のとおりとしている。

$$\text{進捗率} = (\text{実績値} - \text{初期値 (設定時)}) / (\text{目標値} - \text{初期値 (設定時)}) \times 100$$

### 3 令和2年度効果検証結果（総論）

第2期喜多方市総合戦略は、第1期喜多方市総合戦略（以下、「第1期」という）で示した「まち」「ひと」「しごと」の3つの視点を引き継ぎ、人口減少・少子高齢化に対応し、将来にわたり活力ある地域社会の維持を図るため、令和2年度を初年度として各種施策に取り組んでいる。

「まち」の基本目標である「安心な暮らしを守るとともに、周辺地域や民間との連携を図る（基本目標4）」においては、数値目標の「お達者度：65歳以上を過ぎて要介護2以上にならず健康的にすごせる平均的な期間」は努力が必要としているが、KPIの半数が順調に推移している状況であるため、第1期から引き続き、今後は企業やNPO、市民など、地域に関わる一人ひとりが地域の担い手として自ら積極的に参画できよう、地域づくり活動や地域コミュニティ活動への支援に取り組んでいく。

「ひと」の基本目標である「新しいひと・資金の流れをつくる（基本目標2）」においては、数値目標の「社会動態（転入－転出）」の結果から人口転出の抑制が図られていることがわかり、また、ふるさと納税金額の増加や移住・定住の促進に進捗が見られることから、更なる促進を目指して力を入れていく。観光面については、第1期から引き続き、交流人口を増加させるため、魅力的な観光エリアづくり等を進めることで、誘客効果を高めていく。

また、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（基本目標3）」においては、数値目標の「合計特殊出生率」の結果から、出生数の減少が見受けられ、また、他のKPIでは「努力が必要」とするものが多い状況であることから、子育て支援制度の見直しや充実に加え、安心して子育てのできる環境づくりに関する取組に力を入れていく。

「将来を担う多様な人材を育成・確保する（基本目標5）」においては、数値目標の「将来の夢・目標を持っている児童生徒の割合」は実績が出ていないが、各KPIについては「努力が必要」としているものが多い状況であるため、第1期から引き続き、将来を担う人材の育成・確保と市内定着に向けた取組に注力していく。

「しごと」の基本目標である「安定した雇用を創出する（基本目標1）」においては、数値目標の「年間有効求人倍率（ハローワーク喜多方管内）」や「市内総生産額」、他のKPIで「努力が必要」とされるものが7割であることを踏まえ、第1期から引き続き、安定した雇用の確保と市民所得向上のため、経済情勢に注視し、市内経済の実態把握に努め、各種取組を実施していく。

「まち」「ひと」「しごと」の基本目標である「将来を見据えた魅力的なまちをつくる（基本目標6）」においては、数値目標の「行政サービス満足度・重要度アンケート調査結果のうち、満足度の平均」やその他のKPIで「努力が必要」とされるものが多いことから、先端技術の活用等をし、将来にわたり誰もが活躍できる地域社会を目指した取組を実施していく。

全体を通して、「努力が必要」である指標が全体の約6割あり、基本目標1、3については、「努力が必要」である指標の割合が7割以上あることから、今後は雇用や観光、子育て支援の分野について重点を置き、効果的な事業を展開していく必要があると考える。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ポストコロナを見据えたまちづくりを進めるため、本市を取り巻く社会情勢等を把握し、各種事業の推進に努めていく必要がある。

#### 4 基本目標ごとの検証

##### 基本目標1 安定した雇用を創出する(しごと)

###### ●内容

- ・産業の振興を図り、安定した雇用の場と所得を確保することを持続可能な地域社会をつくる上で重要課題としている。
- ・豊富な地域資源を活用しながら、「付加価値の高い産業振興」や「地域経済活動の維持」、「新たな雇用の創出にとって重要な企業や担い手等の確保」、「事業所支援」に取り組むことにより、足腰の強い地域産業構造の推進と就業機会の創出・拡大を目指していく。

###### ●数値目標の進捗内容

数値目標	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
年間有効求人倍率 (ハローワーク喜多方管内)	0.96	0.76	1.0以上	▲500.0%	商工課
<<現状または課題>> 新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年5月に0.54倍まで急降下となった。その後徐々に回復し平年並みにまで戻ってきてはいるが、新型コロナウイルス感染症の影響が継続すれば更に悪化する懸念がある。 <<目標達成に向けた取組み>> 雇用相談センターでの就職相談や職業訓練支援による就職支援など継続した支援策を行っていく。			年間有効求人倍率 (ハローワーク喜多方管内) 		
市内総生産額	1,453億円 (H28)	1,419億円 (H30)	1,540億円	▲39.1%	商工課
<<現状または課題>> 設定時(平成28年度)の数値から減少しており、第1次産業は増加傾向だが、経済や社会情勢の影響を受けやすい第2、3次産業が、どのように安定して成長を続けるかが課題である。 <<目標達成に向けた取組み>> 企業誘致による生産額と雇用の拡大を図るとともに、経営基盤強化や人事育成、生産性の向上等に対する取り組みを支援し、外的要因に左右されにくい経営体質への転換を促していく。			市内総生産額(億円) 		

● K P I の進捗内容

基本的方向(1) 地域の特色を活かした足腰の強い農林業を推進する

具体的施策① 農畜産物の高品質化と生産性・収益性の向上による競争力の強化

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
園芸作物の販売額	12.4 億円	11.7 億円	14.8 億円	▲29.2%	農業 振興 課
<p>《現状または課題》</p> <p>農業者の高齢化や経営規模の縮小等によりアスパラガスを中心に園芸作物の生産面積は大幅に減少しているものの、園芸作物の販売額は微減にとどまっていることから、施設化の進展により生産基盤を強化していくことが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>収益性の高い園芸作物の生産拡大や水稲との複合経営化とともに、高品質で安定した収量が確保できる施設化や栽培体系の導入を推進し、競争力のある産地の形成を進めていく。</p>			<p>園芸作物の販売額 (億円)</p> <p>20%ライン (12.88)</p> <p>設定時 (H30) 12.4 実績値 (R2) 11.7 目標値 (R6) 14.8</p>		

具体的施策② 経営感覚のある農業経営体を中心となった農業構造の確立

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
認定農業者数	541 人	501 人	625 人	▲47.6%	農業 振興 課
<p>《現状または課題》</p> <p>後継者不足により、令和元年度より減少しているが、1経営体当たりの経営規模は増加傾向にあり、担い手への農地の集積・集約化を進め、他産業並みの所得が確保できる担い手が中心となる農業構造へ転換させていくことが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>中心経営体や青年等就農計画の期間満了を迎える認定新規就農者を対象に認定農業者への誘導をし、また、農業経営の収益力強化に向けた支援を進めていく。</p>			<p>認定農業者数 (人)</p> <p>20%ライン (557.8)</p> <p>設定時 (H30) 541 実績値 (R2) 501 目標値 (R6) 625</p>		

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
集落営農組織数	58 組織	57 組織	74 組織	▲6.3%	農業 振興 課
<p>《現状または課題》</p> <p>近年は、集落営農の組織化に向けた動きが鈍化しており、地域農業が目指す将来像を地域ぐるみでの話し合いを促していくことが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>市内外の優良事例等を広く周知し、集落営農等の組織化につながる人・農地プランの作成の推進とともに、市独自の集落営農等の組織化や機械の共同利用への支援等を行っていく。</p>			<p>集落営農組織数 (組織)</p> <p>20%ライン (61.2)</p> <p>設定時 (H30) 58 実績値 (R2) 57 目標値 (R6) 74</p>		

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
農業法人数	27 法人	29 法人	33 法人	33.3%	農業 振 興 課
<p>《現状または課題》 県農業経営相談所と連携した支援を通じて異業種からの農業参入や個人経営から複数戸による農業経営の法人化が進み、農業法人数は順調に増加している現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》 専門家派遣等を行う県の関係機関と連携しながら、農業経営の法人化を志向する者に対して支援を行うことにより、農業経営の法人化を進めていく。</p>			<p>農業法人数 (法人)</p> <p>20%ライン (28.2)</p> <p>27      29      33</p> <p>設定時 (H30)      実績値 (R2)      目標値 (R6)</p>		

具体的施策③ 低コストで効率的な森林整備の推進

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
森林経営計画策定面積 (累計)	2, 224ha	2, 475ha	2, 500ha	90.9%	農 山 村 振 興 課
<p>《現状または課題》 着実に面積が増えているが、森林所有形態が小規模で、所有者の特定に時間を要する森林もあることから、森林面積の集積に課題がある。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》 森林組合等の林業事業者と連携をしながら、森林所有者と林業事業者との森林経営委託契約の締結を促進し、森林経営計画策定面積の増加を図っていく。</p>			<p>森林経営計画策定面積 (ha)</p> <p>20%ライン (2279.2)</p> <p>2, 224      2, 475      2, 500</p> <p>設定時 (H30)      実績値 (R2)      目標値 (R6)</p>		

基本的方向(2) 企業誘致を推進するとともに、商工業の経営環境や競争力を強化し、生産性・収益性を高める

具体的施策① 工業用地の整備と企業立地に対する支援

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
工場新設・増設企業数 (累計)	8社	9社	26社	5.6%	商工課
<p>《現状または課題》</p> <p>企業の設備投資は景気や社会情勢の影響を受けやすく、立地場所の選定は周辺のインフラや地理的条件等に左右されるため、本市の魅力をどのようにPRしていくかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>支援制度をPRして企業誘致活動を実施するとともに、企業のニーズに合った工場用地を提供するため、喜多方綾金工業団地第二工区の造成を進めていく。</p>			<p>工場新設・増設企業数 (社)</p> <p>20%ライン (11.6)</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策② 企業の生産性向上、経営基盤強化に対する支援

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
「喜多方市工業振興支援制度」活用企業数 (累計)	129社	146社	250社	14.0%	商工課
<p>《現状または課題》</p> <p>支援制度を活用する企業も少なくなってきたおり、今後は多くの企業に活用してもらうためにどのように周知していくかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>市内の多くの企業に支援制度の活用を促すため、メールマガジンでの定期的な送信や企業訪問時に支援制度パンフレットを配付するなどして周知を図っていく。</p>			<p>「喜多方市工業振興支援制度」活用企業数 (社)</p> <p>20%ライン (153.2)</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策③ 製造業・次世代産業の育成による競争力強化

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
大学研究機関等への相談 仲介企業数及び企業間連 携相談支援企業数 (累計)	2社	2社	15社	0.0%	商 工 課
<p>《現状または課題》</p> <p>市内企業の多くは大手企業からの下請けであるため、自社で研究開発を行う企業や課題解決のために企業間連携を行う企業は多くない。また、どのようなことが相談できるかわからない企業が多いため、その周知が課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>企業からの相談を待っているだけでなく、企業訪問の際に困りごと相談を行い、その企業が直面している課題等について詳細に聴き取り、その解決に向けて適切な機関等を紹介するような取組みを行っていく。</p>			<p>大学研究機関等への相談 仲介企業数及び企業間 連携相談支援企業数 (社)</p> <p>20%ライン (4.6)</p> <p>2 2 15</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策④ 商業の受注・販路拡大に対する支援

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
商業売上額 (卸・小売業)	597億円 (H28)	—	543億円	—	商 工 課
<p>《現状または課題》</p> <p>消費行動の変容により、地元小売店における売上げは減少傾向が続いている現状である。</p> <p>※本K P Iは、経済センサス活動調査によるものであり、設定時の値である平成28年の値が最新であるため、令和2年度の実績値はなしとしている。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>あきない力向上支援事業等のような個店の魅力を高めたり、自店の特徴を活かす取り組みを支援していく。</p>			<p>商業売上額 (卸・小売業) (億円)</p> <p>20%ライン (586.2)</p> <p>597 543</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

基本的方向(3) 次世代の商工業の後継者づくりを支援し、新たな雇用の創出につなげる

具体的施策① 起業・創業に対する支援

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
起業・創業件数 (累計)	77 件	103 件	137 件	43.3%	商 工 課
<p>《現状または課題》</p> <p>平成 26 年度の創業支援等事業計画策定以降、毎年着実に新規創業者を輩出している。空き店舗の活用におけるマッチングが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>既存の活力ある商店街支援事業・中心市街地商業活性化事業、創業スタートアップ支援事業、あきない賑わい創出事業などにより、スムーズな創業のための支援をしていく。</p>			<p>起業・創業件数 (件)</p> <p>20%ライン (89)</p> <p>77 103 137</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策② 商工業の後継者の育成・確保や事業承継に対する支援

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
商工業の後継者数 (累計)	38 人	40 人	57 人	10.5%	商 工 課
<p>《現状または課題》</p> <p>会津喜多方商工会議所青年部、きたかた商工会青年部の部員うち、後継者とされる人数をカウントしているが、後継者とともに会員数も減少しており、商工業者の弱体化が課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>事業承継の機運を高めるために、あきない人材育成事業補助金の活用を促していく。また、商工団体や組合団体が実施する、おしごと広場、ちびっ子コンシェルジュ等、小中学生を対象とした商業を学ぶ活動を積極的に支援していく。</p>			<p>商工業の後継者数 (人)</p> <p>20%ライン (41.8)</p> <p>38 40 57</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

基本的方向(4) 地域資源を活かし地場産業の魅力・付加価値を向上させる

具体的施策① 喜多方産品の消費・販路拡大による所得の向上

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
アグリチャレンジ支援事業による新商品開発件数 (累計)	36件	40件	48件	33.3%	農業振興課
<p>《現状または課題》</p> <p>6次産業化への取組は、新たな労力やリスク等が負担となり、取組者数は少ない状況にあることに加え、コロナ禍によりチャレンジ意欲が更に減退していることが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>市独自の事業であるアグリチャレンジ支援事業の継続的な実施と併せ、専門家派遣等を行う県の関係機関と連携しながら商品開発や販路開拓に向けた支援を行うことにより、農業の6次産業化を進めていく。</p>			<p>アグリチャレンジ支援事業による新商品開発件数 (件)</p> <p>20%ライン</p> <p>36 (38.4) 40 48</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

●基本目標の総括

順調に推移：4指標 努力が必要：10指標

「安定した雇用を創出する（基本目標1）」においては、数値目標の「年間有効求人倍率（ハローワーク喜多方管内）」や「市内総生産額」、他のK P Iで「努力が必要」とされるものが7割であることを踏まえ、第1期から引き続き、安定した雇用の確保と市民所得向上のため、経済情勢に注視し、市内経済の実態把握に努め、各種取組を実施していく。

**基本目標2 新しいひと・資金の流れをつくる（ひと）**

●内 容

- ・国の総合戦略では、地方への新しいひとの流れをつくることを基本目標に掲げており、都市圏から地方圏への流入を期待しているが、人口の東京一極集中という現状の中、流れをつくりだすことは容易ではない。
- ・全国的な知名度や豊かな自然環境に支えられた産業や歴史、風土の特性を活かし、地方への移住に興味・関心を持つ方へアプローチを行うとともに、移住に関する相談・支援体制に取り組む。
- ・また、「観光都市」としての強みを活かし、国内外から新たな人を呼び込み、再び訪れたいと思えるような、おもてなしが行き届いた魅力的な都市の実現を目指す。

●数値目標の進捗内容

数値目標	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
社会動態 (転入－転出)	▲236人 (H30.1～12)	▲181人 (R2.1～12)	▲100人 (R6.1～12)	40.4%	企画調整課
<p>《現状または課題》</p> <p>首都圏への人口流動は多い状況であり、今後転入者を増やしていくため、支援事業等をどのように実施・展開をしていくかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>本市の人口は年々減少しているところであるため、今後も市の魅力をPRすることや移住・定住、雇用、子育て等の支援事業の充実を図っていく。</p>			<p>社会動態（転入－転出） (人)</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p> <p>-236 -181 -100</p> <p>20%ライン (208.8)</p>		
数値目標	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
市内観光客入込数	186万人	95.9万人	225万人	▲231.0%	観光交流課
<p>《現状または課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実績値が目標値を大幅に下回り、今後どう回復させていくかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>アフターコロナに向け、滞在時間の延伸と観光消費額単価の向上に資する「新しい観光・物産の振興」を図っていく。</p>			<p>市内観光客入込数（万人）</p> <p>20%ライン (193.8)</p> <p>186 95.9 225</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

● K P I の進捗内容

基本的方向(1) 市外への流出を抑制し、定住を促進する

具体的施策① 市内定住の促進

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
多世代同居住宅取得支援事業の活用による若者等の市内定住世帯数 (累計)	—	20 世帯	50 世帯	40.0%	地域振興課
<p>《現状または課題》</p> <p>旧制度（「住むなら喜多方！」若者定住促進事業）による実績に基づき、単年度 10 世帯程度を見込んだが、大幅に実績が上回る結果となった。主に市のホームページで本制度を知った世帯が多い現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>今後も市ホームページ等により制度の周知に努め、多世代での市内定住の促進を図っていく。</p>			<p>多世代同居住宅取得支援事業の活用による若者等の市内定住世帯数（世帯）</p> <p>20%ライン (10)</p> <p>50</p> <p>20</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策② 若年層の市内定着の促進

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
奨学金の返還支援件数 (累計)	17 件	23 件	35 件	33.3%	商工課
<p>《現状または課題》</p> <p>新規認定者数を増やすため、支援制度をどのような手法で周知していくかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>市の広報やホームページなど様々な手法を活用し、支援制度の周知に努めていく。</p>			<p>奨学金の返還支援件数（件）</p> <p>20%ライン (20.6)</p> <p>35</p> <p>23</p> <p>17</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
喜多方准看護高等専修学校卒業生の市内医療機関就職率	50.0%	33.3%	65.0%	▲111.3%	保健課
<p>《現状または課題》</p> <p>卒業生が看護師の資格を取得するため、進学していることもあるが、市内医療機関への就職率が減少傾向にあることが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>今後も看護職就学・就労支援事業により支援するとともに、准看護師の資格取得のためにより良い環境の提供をしていく。</p>			<p>喜多方准看護高等専修学校卒業生の市内医療機関就職率 (%)</p> <p>20%ライン</p> <p>(53.0)</p> <p>50.0 33.3 65.0</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

基本的方向(2) 住まい、仕事等の支援を通じ、本市への移住を促進する

具体的施策① 相談・支援体制の強化による本市への移住の促進

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
移住相談窓口を通じた県外からのUIJターン者数(累計)	44人	86人	120人	55.3%	地域振興課
<p>《現状または課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による社会状況の変化により、地方への移住に対する関心度が高まってきている現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>変化する社会ニーズに対応した施策展開を図るなど、移住・定住に対する取組を強化し、UIJターン者数の増加を図っていく。</p>			<p>移住相談窓口を通じた県外からのUIJターン者数 (人)</p> <p>20%ライン</p> <p>(59.2)</p> <p>44 86 120</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策② 移住者に対する住まいや仕事の支援

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
空き店舗を活用した 新規起業・創業件数 (累計)	18 件	29 件	43 件	44.0%	商 工 課
<p>《現状または課題》</p> <p>県との共同による中心市街地商業活性化事業、創業スタートアップ支援事業などにより、空き店舗を活用した新規起業・創業を支援している。空き店舗と活用希望者のマッチングが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>令和2年度には空き店舗の所有者が改装のために活用できる「あきない賑わい創出事業補助金」を設けており、今後も創業者の条件によって制度を使い分けることができるような取組を進めていく。</p>			<p>空き店舗を活用した新規起業・創業件数 (件)</p> <p>20%ライン (23)</p> <p>18 29 43</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

基本的方向(3) 魅力的な観光エリアづくりによる交流人口を増加させる

具体的施策① 観光資源の発掘・磨き上げとネットワーク化

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
市内宿泊者数	63,732 人	42,336 人	70,800 人	▲302.7%	観 光 交 流 課
<p>《現状または課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実績値が目標値を大幅に下回り、今後どう回復させていくかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>アフターコロナに向け、滞在時間の延伸と観光消費額単価の向上に資する日本酒等と組み合わせた宿泊観光の推進していく。</p>			<p>市内宿泊者数 (人)</p> <p>20%ライン (65145.6)</p> <p>63,732 42,336 70,800</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策② グリーン・ツーリズムの一層の推進と広域連携の強化

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
グリーン・ツーリズム 交流人口	6,256人	83人	12,700人	▲95.8%	観光 交流 課
<p>《現状または課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実績値が目標値を大幅に下回り、今後どう回復させていくかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>教育旅行の更なる推進と農業・農泊体験の受入体制の充実を図っていく。</p>			<p>グリーン・ツーリズム 交流人口 (人)</p> <p>20%ライン (7544.8)</p> <p>6,256      83      12,700</p> <p>設定時 (H30)    実績値 (R2)    目標値 (R6)</p>		

具体的施策③ インバウンド対策の強化

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
外国人観光客数	1,089人	118人	8,000人	▲14.1%	観光 交流 課
<p>《現状または課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実績値が目標値を大幅に下回り、今後どう回復させていくかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>広域観光の更なる推進と外国人観光客の受入体制の整備促進を図っていく。</p>			<p>外国人観光客</p> <p>20%ライン (3560.2)</p> <p>1,089      118      8,000</p> <p>設定時 (H30)    実績値 (R2)    目標値 (R6)</p>		

基本的方向(4) 関係人口の創出拡大や民間資金の還流を図る

具体的施策① 多様な関わりを持つ人々との継続的な交流促進

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
民間企業等との連携協定 等の締結数 (累計)	53件	69件	60件	228.6%	企画 調整 課
<p>《現状または課題》</p> <p>企業が、地域での社会貢献や課題の解決を目的にして提案するケースが増えている現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>年間1件程度を目標にし、市と企業等が地域課題の相談や解決等に関わることのできる機会づくりを進めていく。</p>			<p>民間企業等との連携協定等 の締結数 (件)</p> <p>20%ライン (54.4)</p> <p>53      69      60</p> <p>設定時 (H30)    実績値 (R2)    目標値 (R6)</p>		

具体的施策② 企業や個人による寄附・投資等による資金の流れの強化

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
ふるさと納税金額	2,608 万円	6,717 万円	3,200 万円	694.1%	企画調整課									
<p>《現状または課題》</p> <p>令和元年度から業務委託による新たな返礼品の開発や詳しい商品説明の掲載、SNSを活用したPRの効果が実績に起因している。主にラーメンや米、酒が多く取り上げられている現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>今後は楽天ふるさと納税など、ふるさと納税サイトを増やす取り組みを進めていく。</p>			<p>ふるさと納税金額 (万円)</p> <table border="1"> <caption>ふるさと納税金額 (万円) の進捗状況</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額 (万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定時 (H30)</td> <td>2,608</td> </tr> <tr> <td>実績値 (R2)</td> <td>6,717</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R6)</td> <td>3,200</td> </tr> <tr> <td>20%ライン</td> <td>2,726.4</td> </tr> </tbody> </table>			項目	金額 (万円)	設定時 (H30)	2,608	実績値 (R2)	6,717	目標値 (R6)	3,200	20%ライン
項目	金額 (万円)													
設定時 (H30)	2,608													
実績値 (R2)	6,717													
目標値 (R6)	3,200													
20%ライン	2,726.4													

●基本目標の総括

順調に推移：7指標 努力が必要：5指標

「新しいひと・資金の流れをつくる（基本目標2）」においては、数値目標の「社会動態（転入－転出）」の結果から人口転出の抑制が図られていることがわかり、また、ふるさと納税金額の増加や移住・定住の促進に進捗が見られることから、更なる促進を目指して力を入れていく。観光面については、第1期から引き続き、交流人口を増加させるため、魅力的な観光エリアづくり等を進めることで、誘客効果を高めていく。

**基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（ひと）**

●内 容

- ・少子化が進行する中、異性と出会い、結婚し、子どもを持ちたいと思う人の希望をかなえるとともに、子どもを安心して産み育てることができる環境の整備が不可欠である。
- ・未婚者に対する支援策や母子保健の充実を図りながら、保育所や認定こども園等の受け入れ体制の整備に努めるとともに、関係機関との連携を図り、地域が一体となった環境の充実に努める。

●数値目標の進捗内容

数値目標	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
合計特殊出生率	1.41	1.22	1.9	▲38.8%	企画調整課
<p>《現状または課題》</p> <p>令和2年度の実績値を見れば、市の人口及び合計特殊出生率は、社人研推計の将来推計人口「算準モデル」を下回っている現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>子育て環境の充実等さらなる対策について検討していくとともに、国勢調査の結果を踏まえ、実態に合わせた人口ビジョンの見直しを図っていく。</p>			<p>合計特殊出生率 20%ライン (15.1)</p> <p>1.41 1.22 1.9</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

●K P I の進捗内容

基本的方向(1) 出会いから結婚・妊娠・出産・子どもの健やかな成長における切れ目のない支援を行う

具体的施策① 結婚・妊娠・出産を希望している人々に対する支援

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
出会い・婚活イベント 参加者数	75人	—	75人	—	こども課
<p>《現状または課題》</p> <p>令和2年度は実績がなかったが、出会いイベント関係の要望はあるため、今後コロナ禍でどのように行っていくかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>少人数での開催などを含め、時代のニーズに合った内容を検討しながら、出会い・婚活の機会を提供していく。</p>			<p>出会い・婚活イベント 参加者数 (人)</p> <p>75 75</p> <p>20%ライン (75)</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
妊婦一般健康診査（後期）所見あり妊婦の割合	49.1%	56.9%	減少	割合増加	保健課
<p>《現状または課題》</p> <p>後期においては貧血や糖尿の有所見者が増加しているため、どの時期に効果的な指導ができるか課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>母子手帳交付時に個別の食生活の見直し内容の保健指導や、前期妊婦健康診査の結果貧血有所見者への貧血予防の指導を実施していく。</p>			<p>妊婦一般健康診査（後期）所見あり妊婦の割合（%）</p> <p>49.1      56.9</p> <p>20%ライン (減少)</p> <p>設定時 (H30)    実績値 (R2)    目標値 (R6)</p>		

具体的施策② 子どもの健やかな成長のための支援

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
3歳児のう歯のない子どもの割合	82.0%	84.4%	86.5%	53.3%	保健課
<p>《現状または課題》</p> <p>妊娠期から始まる歯と口腔の健康づくり事業を通して、早い段階からの対応と対策を行ったことが効果として表れている。継続して取り組んでいくことが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>上記事業を継続して実施していき、歯科保健行動の定着を図っていく。</p>			<p>3歳児のう歯のない子どもの割合（%）</p> <p>20%ライン (82.9)</p> <p>82.0      84.4      86.5</p> <p>設定時 (H30)    実績値 (R2)    目標値 (R6)</p>		

基本的方向(2) 安心して子育てができる環境をつくる

具体的施策① 親子を中心に様々な世代が交流できる場の整備

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
公園や広場の整備に関する満足度	46.4点	51.1点	60点	34.6%	企画調整課
<p>《現状または課題》</p> <p>満足度が増えている一方で、「老朽化した遊具の修繕してほしい」「多くの子どもが遊べる大型遊具がある公園を整備してほしい」等の意見が多く出ている現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>意見等を含むアンケート結果は各所属へ送付し、課題認識の共有を図っているため、今後も市の事業等へ反映させていく。</p>			<p>公園や広場の整備に関する満足度（点）</p> <p>20%ライン (49.1) 51.1 60</p> <p>46.4</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策② 子育て世代への支援

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
待機児童数	0人	1人	0人	—	こども課
<p>《現状または課題》</p> <p>児童の身体的状況(疾病)により受入態勢が整わなかったことが原因であり、障がい児の受入態勢、人材の確保等が課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>既存の保育施設に定員の調整(受入)をお願いするとともに、必要な保育の受け皿を拡大しそれを支える人材を確保するために、保育士等の処遇改善事業に取り組んでいく。</p>			<p>待機児童数（人）</p> <p>20%ライン 0 (0) 0</p> <p>1</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策③ 親子が安心して健やかに過ごせるための支援

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
市内医療機関の数	23 機関	22 機関	現状維持 (23 機関)	減少	保健課
<p>《現状または課題》</p> <p>医師や看護師など医療従事者が不足しており、医療を支える人材の確保、また、中山間地域の医療の確保が課題となっている。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>県や医師会、県立医科大学などと連携し、医療・看護人材の育成と地域への定着を図るとともに地域医療体制の充実を図っていく。</p>			<p>市内医療機関の数 (機関)</p> <p>20%ライン</p> <p>23 (23) 23</p> <p>22</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

●基本目標の総括

順調に推移：2指標 努力が必要：5指標

「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（基本目標3）」においては、数値目標の「合計特殊出生率」の結果から、出生数の減少が見受けられ、また、他のKPIでは「努力が必要」とするものが多い状況であることから、子育て支援制度の見直しや充実に加え、安心して子育てのできる環境づくりに関する取組に力を入れていく。

## 基本目標4 安心なくらしを守るとともに、周辺地域や民間との連携を図る（まち）

### ●内 容

- ・行政に頼るだけでなく、自助・共助を高め地域全体で防災・減災対策や、市民の身近な移動手段である公共交通の維持・確保のほか、雪害対策、空き家対策等によるまちの活性化を図る必要がある。
- ・市民の健康を守るため、予防医療体制の整備を図るほか、生活支援や相談体制などを充実させ、企業やNPO、市民など、地域に関わる一人ひとりが地域の担い手として自ら積極的に参画できよう、地域づくり活動や地域コミュニティ活動への支援を進める。

### ●数値目標の進捗内容

数値目標	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
お達者度： 65歳を過ぎて要介護2以上にならず健康的にすごせる平均的な期間	男性：17.02年 女性：20.88年	男性：17.15年 女性：20.69年	男性：17.92年 女性：20.94年	5.6%	保健課
<p>《現状または課題》</p> <p>お達者度については、全国平均や県平均と比べて下回っている現状であり、食事に気を配ることや定期的な運動をするといった健康的な生活の積み重ねが必要であるため、今後市民への周知や関連事業をどのように実施するかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>健康の維持と健康寿命の延伸のため、特定健康診査やがん検診を通して、生活習慣病の発症予防と改善、及び重症化予防対策事業に取り組んでいく。</p>	<p>お達者度：65歳以上を過ぎて要介護2以上にならず健康的にすごせる平均的な期間（年）男性</p> <p>20%ライン</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>	<p>お達者度：65歳以上を過ぎて要介護2以上にならず健康的にすごせる平均的な期間（年）女性</p> <p>20%ライン</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>			

● K P I の進捗内容

基本的方向(1) 安全・安心な地域社会をつくる

具体的施策① 防災・減災対策の推進

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
自主防災組織結成率	25.7%	28.6%	36.7%	26.4%	危機管理課
<p>《現状または課題》</p> <p>コロナ禍により、新規結成は2組織に留まったことと併せ、防災活動を控える組織が多くあった現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>今後も行政区に対し、自主防災組織に関する説明会を実施していく。また、市民へ防災意識向上のため、広報誌等により周知を図っていく。</p>			<p>自主防災組織結成率 (%)</p> <p>20%ライン (27.9)</p> <p>25.7 28.6 36.7</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策② 生活交通ネットワークの維持

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
デマンド交通の利用者数 (1日あたり)	98人	102人	202人	3.8%	地域振興課
<p>《現状または課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を下回っているため、運行内容等の見直しを図っていくことが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>令和3年度中に令和4年度からの5年間を計画期間とする「地域公共交通計画」を策定することとしており、その中で見直し内容について検討をしていく。</p>			<p>デマンドバスの利用者数 (1日あたり) (人)</p> <p>20%ライン (118.8)</p> <p>98 102 202</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
公共交通利用者数 (1日あたり)	283人	252人	360人	▲40.3%	地域 振 興 課
<p>《現状または課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、路線バスにおいて1日当たりの利用者数が減少した。利用者数の確保に向けたどのような取組を実施していくかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>令和3年度中に令和4年度からの5年間の計画期間とする「地域公共交通計画」を策定することとしており、その中で見直し内容について検討をしていく。</p>			<p>公共交通利用者数 (1日あたり) (人)</p> <p>20%ライン (298.4)</p> <p>283 252 360</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策③ 空き家対策の推進

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
危険空き家等の 解体撤去件数 (累計)	50件	116件	120件	94.3%	都市 整 備 課
<p>《現状または課題》</p> <p>解体に対する支援制度等を含めた空き家の適正な管理の必要性について広報等による周知や、管理不全な空き家に対する助言指導等により、適正管理が促進されているが、本市のみならず全国的に空き家が増えていることが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>今後も空き家に関する相談機会の拡充や空き家所有者等に対する空き家適正管理の意識啓発、空き家対策に関する支援制度の周知に力を入れていく。</p>			<p>危険空き家等の解体撤去 件数 (件)</p> <p>20%ライン (64)</p> <p>50 116 120</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

基本的方向(2) 市民の健康づくりを強化する

具体的施策① 運動の習慣づけによる健康づくりの促進

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
軽く汗をかく 1 回 30 分以上の運動を週 2 回以上、1 年以上続けている市民 (壮年期) の割合	男性 32.0% 女性 21.3%	男性 29.9% 女性 20.5%	男性 36.0% 女性 33.0%	▲29.7%	保健課
<p>《現状または課題》</p> <p>運動の習慣づけや健康診査の実施、保健指導などを行っているが、数値が減少している状況である。運動習慣の定着に向けた取組みを継続して実施していくことが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>市民が楽しみながら運動習慣の定着や動機づけが図られるよう、きらり喜多方健康ポイント事業等を継続して実施し、今後も啓発活動を積極的に行っていく。</p>			<p>軽く汗をかく 1 回30分以上の運動を週 2 回以上、1 年以上続けている市民 (壮年期) の割合 (%) 男性</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p> <p>軽く汗をかく 1 回30分以上の運動を週 2 回以上、1 年以上続けている市民 (壮年期) の割合 (%) 女性</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		
K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
スポーツイベント及びスポーツ教室等の参加者数	14,730 人	5,595 人	15,900 人	▲780.8%	生涯学習課・中央公民館
<p>《現状または課題》</p> <p>コロナ禍の中で、多くの市民にスポーツに触れ合う機会を提供することができたが、ライフステージに応じて、どこでもスポーツに親しめるよう機会を提供していくことが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>各種大会の開催や団体等への支援を通して市民がスポーツに参加できる機会を提供し、また、市民ニーズを踏まえ「誰もが、どこでもスポーツに親しめる機会を提供する方法」について検討していく。</p>			<p>スポーツイベント及びスポーツ教室等の参加者数 20%ライン (人)</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策② 健康意識の向上と予防医療体制の強化

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率 (人数)	▲19.6% (2,701人)	▲8.8% (3,063人)	▲25.0% (2,519人)	▲200.0%	保健課									
<p>《現状または課題》</p> <p>個別に、特定保健指導・重症化予防の対象者として、リスクに応じた支援を実施している現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少に向け、効果的な個別保健指導の取り組みを継続していく。</p>			<p>メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率 (%)</p> <table border="1"> <caption>メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定時 (H30)</td> <td>-19.6</td> </tr> <tr> <td>実績値 (R2)</td> <td>-8.8</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R6)</td> <td>-25.0</td> </tr> <tr> <td>20%ライン</td> <td>-20.7</td> </tr> </tbody> </table>			項目	値	設定時 (H30)	-19.6	実績値 (R2)	-8.8	目標値 (R6)	-25.0	20%ライン
項目	値													
設定時 (H30)	-19.6													
実績値 (R2)	-8.8													
目標値 (R6)	-25.0													
20%ライン	-20.7													
K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名									
特定健診受信者で高血圧Ⅱ度 (収縮期血圧160又は拡張期血圧100)以上の割合	4.8%	4.0%	3.5%	61.5%	保健課									
<p>《現状または課題》</p> <p>重症化予防の対象者として個別に保健指導を実施してきた結果、設定時よりも減少している現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>医師会等と連携し、健康意識の向上を図るとともに、継続した保健指導を実施し、生活習慣病の発症や重症化予防を図っていく。</p>			<p>特定健診受診者で高血圧Ⅱ度 (収縮期血圧160又は拡張期血圧100)以上の割合 (%)</p> <table border="1"> <caption>特定健診受診者で高血圧Ⅱ度 (収縮期血圧160又は拡張期血圧100)以上の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定時 (H30)</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>実績値 (R2)</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R6)</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>20%ライン</td> <td>4.5</td> </tr> </tbody> </table>			項目	値	設定時 (H30)	4.8	実績値 (R2)	4.0	目標値 (R6)	3.5	20%ライン
項目	値													
設定時 (H30)	4.8													
実績値 (R2)	4.0													
目標値 (R6)	3.5													
20%ライン	4.5													

具体的施策③ 地域包括ケアシステムの構築による介護・医療体制の充実・強化

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名									
いきいき高齢者の割合	79.7%	79.2%	83.0%	▲15.2%	高齢福祉課									
<p>《現状または課題》</p> <p>高齢化の進展により介護を要する高齢者の増加が見込まれ、要介護状態となっても安心して生活できる体制構築や介護状態となることを遅らせる取り組みの強化が課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取り組み》</p> <p>関係機関同士の連携を強化し、医療・介護・生活支援サービスの充実を図ると共に、要介護状態となることを遅らせる取り組みを進めていく。</p>			<p>いきいき高齢者の割合 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>設定時 (H30)</td> <td>79.7</td> </tr> <tr> <td>実績値 (R2)</td> <td>79.2</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R6)</td> <td>83.0</td> </tr> <tr> <td>20%ライン (80.4)</td> <td>80.4</td> </tr> </table>			項目	割合 (%)	設定時 (H30)	79.7	実績値 (R2)	79.2	目標値 (R6)	83.0	20%ライン (80.4)
項目	割合 (%)													
設定時 (H30)	79.7													
実績値 (R2)	79.2													
目標値 (R6)	83.0													
20%ライン (80.4)	80.4													

基本的方向(3) 地域のつながりを維持する

具体的施策① 市民が主役となった持続可能な地域づくり

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名							
ふるさと創生事業及び協働のまちづくり推進事業の採択件数（累計）	145 件	227 件	495 件	23.4%	地域振興課							
<p>《現状または課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベント事業の多くが自粛となったが、その中で本補助金の採択が相当程度あった。今後の状況を注視し、どのように周知・増加させていくかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>各種イベントの実施が回復すれば、本補助金の交付件数も同じく回復していくものと考えられるため、社会情勢を勘案しながら、制度の周知等を図っていく。</p>			<p>ふるさと創生事業及び協働のまちづくり推進事業の採択件数（件）</p> <table border="1"> <caption>ふるさと創生事業及び協働のまちづくり推進事業の採択件数</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定時 (H30)</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>実績値 (R2)</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R6)</td> <td>495</td> </tr> </tbody> </table> <p>20%ライン (215)</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>			項目	数値	設定時 (H30)	145	実績値 (R2)	227	目標値 (R6)
項目	数値											
設定時 (H30)	145											
実績値 (R2)	227											
目標値 (R6)	495											
K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名							
N P O法人組織数	23 団体	24 団体	28 団体	20.0%	市民生活課							
<p>《現状または課題》</p> <p>N P O法人数については、一般社団法人という新しい組織制度が増えており、現状の継続に関する検討が課題となっている。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>今後は補助金交付団体及び市ともに、市民活動事業のみ見える化、成果のみ見える化を行い、制度全体の改善に努めていく。</p>			<p>N P O法人組織数（団体）</p> <table border="1"> <caption>N P O法人組織数</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定時 (H30)</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>実績値 (R2)</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R6)</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>20%ライン (4.6)</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>			項目	数値	設定時 (H30)	23	実績値 (R2)	24	目標値 (R6)
項目	数値											
設定時 (H30)	23											
実績値 (R2)	24											
目標値 (R6)	28											

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
生活支援支え合い会議 設置数	2 地区	6 地区	16 地区	28.6%	社会福祉課
<p>《現状または課題》</p> <p>概ね計画通り設置できている現状であるが、住民主体かつ成果が見えにくい内容であるため、関係者間の意識統一が課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>生活支援コーディネーターを中心として地域課題や人材の把握、関係機関とのネットワーク構築に努め、本事業の周知などに取り組んでいく。</p>			<p>生活支援支え合い会議 設置数（地区）</p> <p>20%ライン (4.8)</p> <p>2 6 16</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策② NPOなどの地域づくりを担う組織や企業との連携

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
協働のまちづくり推進事業の活用による地域と市民活動団体との連携数 (累計)	—	1 件	5 件	20.0%	地域振興課
<p>《現状または課題》</p> <p>令和2年度は塩川地区の「こまがた元気会」が補助金（協働モデル支援事業地域わくわくプラン策定枠）を活用した実績となっており、市と地域との連携・支援を図ることができた。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>今後も「こまがた元気会」の活動を支援していくとともに、同様の取組みを他の地域にも広げるため、住民意識の醸成等を図っていく。</p>			<p>協働のまちづくり推進事業の活用による地域と市民活動団体との連携数（件）</p> <p>20%ライン (1)</p> <p>1 5</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

基本的方向(4) 人口減少・高齢化に対応した経済・生活圏を形成する

具体的施策① 企業間の広域連携に対する支援

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
広域連携活動への 参加企業数	14 社	12 社	20 社	▲33.3%	商 工 課
<p>《現状または課題》</p> <p>各種事業に参加していない企業はメリットが感じられず退会している。また、新規の勧誘の際にも、メリットを感じられず入会しない企業が多い現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>企業訪問の際に、これまでの活動の実績や会員企業間での新たな受発注による取引機会の拡大等のメリットを説明し加入を図る。また、会長や事務局に同行してもらうなど新たな手法を検討していく。</p>			<p>広域連携活動への参加 企業数 (社)</p> <p>20%ライン</p> <p>14 (15.2) 20</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策② 自治体における広域連携の推進

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
定住自立圏共生ビジョンに 掲げる具体的取組数	19 件	20 件	24 件	20.0%	企 画 調 整 課
<p>《現状または課題》</p> <p>3市町村で実施する取組に関して、既存内容の見直しや新たな取組内容を毎年度検討している。人口減少・少子高齢化に対応した効果的な取組を見出すことが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>令和4年度から新たなビジョンが開始される見込みのため、新規事業も盛り込むこととしたい。</p>			<p>定住自立圏共生ビジョンに 掲げる具体的取組数 (件)</p> <p>20%ライン</p> <p>19 (20) 24</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

●基本目標の総括

順調に推移：8指標 努力が必要：5指標

「安心なくらしを守るとともに、周辺地域や民間との連携を図る（基本目標4）」においては、数値目標の「お達者度：65歳以上を過ぎて要介護2以上にならず健康的にすごせる平均的な期間」は努力が必要としているが、K P I の半数が順調に推移している状況であるため、第1期から引き続き、今後は企業やN P O、市民など、地域に関わる一人ひとりが地域の担い手として自ら積極的に参画できよう、地域づくり活動や地域コミュニティ活動への支援に取り組んでいく。

**基本目標5 将来を担う多様な人材を育成・確保する（ひと）**

●内 容

- ・持続可能な地域社会づくりに向け、関係機関・団体と連携し、医療・介護・子育てといった市民の生活と密接にかかわる分野はもちろん、ものづくり分野における人材や、本市の歴史・風土・文化が育んできた伝統工芸などにおける担い手の育成・確保に取り組む。
- ・また、子どもたちが、単なる教科書の知識だけでなく、自らの足でしっかり立ち、変化に対応し力強く生きていく力をつけるとともに、将来の地域の担い手として地域に誇りと愛着を持てるような特色のある教育に取り組む。

●数値目標の進捗内容

数値目標	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
将来の夢・目標を持っている児童生徒の割合	児童 (H31) 市 66.5% 国 65.9% 県 66.5% 生徒 (H31) 市 47.6% 国 44.9% 県 45.9%	—	国・県を上回る	—	学校教育課
<p>《現状または課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等を考慮し、「令和2年度全国学力学習状況調査」を実施しなかったため、実績値がない状況である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>単なる職場体験の実施だけではなく、将来の生活や社会と関連付けたキャリア教育の充実を図るなど学習の基盤となる資質・能力をさらに伸ばしていく。</p>					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>将来の夢・目標を持っている児童生徒の割合（児童）（%）</p> <p>20%ライン (国・県を上回る)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>将来の夢・目標を持っている児童生徒の割合（生徒）（%）</p> <p>20%ライン (国・県を上回る)</p> </div> </div>					

● K P I の進捗内容

基本的方向(1) 不足する人材の育成・確保と市内定着を促進する

具体的施策① 地方創生の基盤を支える人材の掘り起こし・育成・支援

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名
喜多方准看護高等専修学校卒業生の市内医療機関就職率【再掲】	50.0%	33.3%	65.0%	▲111.3%	保健課
<p>《現状または課題》</p> <p>卒業生が看護師の資格を取得するため、進学していることもあるが、市内医療機関への就職率が減少傾向にあることが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>今後も看護職就学・就労支援事業により支援するとともに、准看護師の資格取得のためにより良い環境の提供をしていく。</p>			<p>喜多方准看護高等専修学校卒業生の市内医療機関就職率 (%)</p> <p>20%ライン (53.0)</p> <p>50.0 33.3 65.0</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		
介護職員数	832人	887人	902人	78.6%	高齢福祉課
<p>《現状または課題》</p> <p>令和元年度から比較すると、介護職員数は大幅に増えたが、今後職員数を維持できるかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>引き続き、介護職員養成・就労定着化事業を実施し、介護職員の養成・定着化を図っていく。</p>			<p>介護職員数 (人)</p> <p>20%ライン (846)</p> <p>832 887 902</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		
市が主催するものづくり関係イベントの参加者数(累計)	1,321人	1,431人	3,500人	5.0%	商工課
<p>《現状または課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを開催できず、今後の状況がどこまで続くかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>開催時期等について検討するとともに、チラシやポスターについて、興味を持ってもらえるような内容にしていく。</p>			<p>市が主催するものづくり関係イベントの参加者数 (人)</p> <p>20%ライン (1756.8)</p> <p>1,321 1,431 3,500</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

基本的方向(2) 将来を担う子どもたちの育成を強化する

具体的施策① 夢に向かい、変化する時代を生き抜く力を身につけるための教育

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
主体的・対話的で深い 学びを実感している 児童生徒の割合	児童 (H31) 市 39.6% 国 32.2% 県 30.3% 生徒 (H31) 市 20.9% 国 25.2% 県 28.3%	—	国・県を 上回る	—	学 校 教 育 課
<p>《現状または課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等を考慮し、「令和2年度全国学力学習状況調査」を実施しなかったため、実績値がない状況である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>主体的・対話的で深い学びを行うため、自ら学ぶことや友達と学び合う機会を授業の中で取り入れていく。</p>					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>主体的・対話的で深い 学びを実感している 児童生徒の割合 (%) 児童</p> <p>20%ライン (国・県を上回る)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>主体的・対話的で深い 学びを実感している 児童生徒の割合 (%) 生徒</p> <p>20%ライン (国・県を上回る)</p> </div> </div> <p>市 国 県 市 国 県 市 国 県 市 国 県 市 国 県</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6) 設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>					

具体的施策② 本市の歴史、風土、文化等に関する学びを通じた「喜多方人」の育成

K P I	設定時 (H 3 0)	実績値 (R 2)	目標値 (R 6)	進捗率	課名							
「喜多方人づくりの指針」の保護者への認知割合	70.63%	76.69%	95.0%	24.9%	生涯学習課							
<p>《現状または課題》</p> <p>人づくりの指針の啓発資材等を配布したこと、先人の教えや風土・文化、歴史等を素材とした講座を開催したこと、人づくりの指針に関する講演会に講師を派遣したことにより、多くの方に指針を認知してもらえることができた現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>指針の浸透を図るために、引き続き啓発資材を配布するとともに、公民館の「人づくりの指針事業」の具体的な実践・取組例について紹介していく。また、引き続き新たな先人の掘り起こしを行い、魅力ある事業の充実を図っていく。</p>			<p>「喜多方人づくりの指針」の保護者への認知割合 (%)</p> <table border="1"> <caption>「喜多方人づくりの指針」の保護者への認知割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定時 (H30)</td> <td>70.63</td> </tr> <tr> <td>実績値 (R2)</td> <td>76.69</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R6)</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table>			項目	値 (%)	設定時 (H30)	70.63	実績値 (R2)	76.69	目標値 (R6)
項目	値 (%)											
設定時 (H30)	70.63											
実績値 (R2)	76.69											
目標値 (R6)	95.0											

●基本目標の総括

順調に推移：2指標 努力が必要：4指標

「将来を担う多様な人材を育成・確保する（基本目標5）」においては、数値目標の「将来の夢・目標を持っている児童生徒の割合」は実績が出ていないが、各K P Iについては「努力が必要」としているものが多い状況であるため、第1期から引き続き、将来を担う人材の育成・確保と市内定着に向けた取組に注力していく。

## 基本目標6 将来を見据えた魅力的なまちをつくる（まち・ひと・しごと）

### ●内 容

- ・将来にわたり、市民が安全・安心に生活し、まちの活力を維持するため、Society5.0やSDGsといった新しい時代の流れを力にして地域の魅力を一層向上させるとともに、一人ひとりが地域の担い手として自ら積極的に参画し、誰もが活躍できる魅力的な地域社会の創造を目指す。

### ●数値目標の進捗内容

数値目標	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
行政サービス満足度・重要度アンケート調査結果のうち、満足度の平均	49.7点	50.0点	70点	1.5%	企画調整課
<p>《現状または課題》</p> <p>年々市の各種施策に対する意見が多くなってきている現状であり、今後この意見をどのように反映・解決していくかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>意見等を含むアンケート結果については、各所属へ送付し、課題認識等の共有を図っているため、魅力的な地域社会の維持・形成に向けて取組んでいく。</p>			<p>行政サービス満足度・重要度アンケート調査結果のうち、満足度の平均（点）</p> <p>20%ライン (53.8)</p> <p>49.7 50.0 70</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

### ●K P I の進捗内容

基本的方向(1) 新たな時代の流れを力にする

具体的施策① Society5.0の実現に向けた技術の活用

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
オープンデータの公開数 (累計)	33件	33件	100件	0.0%	情報政策課
<p>《現状または課題》</p> <p>現在、市の人口や統計情報を公開しているが、今後データを保有する各課の理解を得て、どのようにオープンデータの公開数を向上させるかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>各課へオープンデータに関する認識やデータ化の方法等の情報共有を図り、オープンデータの推進に取組んでいく。</p>			<p>オープンデータの公開数（件）</p> <p>20%ライン (46.4)</p> <p>33 33 100</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

具体的施策② SDGs を原動力とした地方創生

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
「SDGs」の認知度 (行政サービス満足度・ 重要度アンケート調査 結果による)	—	3.4%	50% 「よく知っている」以上の割合	6.8%	企画調整課
<p>《現状または課題》</p> <p>「SDGs」という名前については聞いたことがあるが、具体的な内容が認知されていない現状となっており、どのように周知等を行い、認知してもらうかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>広報を通じて事業所紹介を実施していることや、今後職員研修の実施も行う予定としていることから、多くの方に認知してもらえるような取組みを展開していく。</p>			<p>「SDGs」の認知度（行政サービス満足度・重要度アンケート調査結果による）（%） ※「よく知っている」以上の割合</p> <p>50 20%ライン (10.0) 3.4</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

基本的方向(2) 誰もが活躍できる地域社会をつくる

具体的施策① 誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会の実現

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名
高齢者いきいきサロンを 設置した地区数	35 地区	37 地区	40 地区	40.0%	高齢福祉課
<p>《現状または課題》</p> <p>目標値に向けて順調に推移している状況であるが、コロナ禍の中で、安心して活動を継続できるかが課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>新規サロンの設立に向けて、サロン未設置地区への働きかけを行っていく。</p>			<p>高齢者いきいきサロンを設置した地区数（地区）</p> <p>40 20%ライン (36) 35 37</p> <p>設定時 (H30) 実績値 (R2) 目標値 (R6)</p>		

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名							
生活支援支え合い 会議設置数【再掲】	2 地区	6 地区	16 地区	28.6%	社会福祉課							
<p>《現状または課題》</p> <p>概ね計画通り設置できている現状であるが、住民主体かつ成果が見えにくい内容であるため、関係者間の意識統一が課題である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>生活支援コーディネーターを中心として地域課題や人材の把握、関係機関とのネットワーク構築に努め、本事業の周知などに取り組んでいく。</p>			<p>生活支援支え合い会議設置数【再掲】（地区）</p> <table border="1"> <caption>生活支援支え合い会議設置数【再掲】（地区）</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定時 (H30)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>実績値 (R2)</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R6)</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>			時期	数	設定時 (H30)	2	実績値 (R2)	6	目標値 (R6)
時期	数											
設定時 (H30)	2											
実績値 (R2)	6											
目標値 (R6)	16											

具体的施策② 外国人を受け入れやすい環境の整備と多文化共生の推進

K P I	設定時 (H30)	実績値 (R2)	目標値 (R6)	進捗率	課名							
国際交流活動参加者数	310 人	128 人	350 人	▲455.0%	企画調整課							
<p>《現状または課題》</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業を中止・規模縮小としたため参加者数は減少した。今後においても3密を避けた事業の実施や海外派遣・受入事業が再開できない状況が続けば、参加者数の減少は否めない現状である。</p> <p>《目標達成に向けた取組み》</p> <p>コロナ禍の中で、多くの参加者を募り実施する事業の開催は困難であるため、小規模事業の回数を増やすことやオンラインによる交流を検討していく。</p>			<p>国際交流活動参加者数（人）</p> <table border="1"> <caption>国際交流活動参加者数（人）</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定時 (H30)</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>実績値 (R2)</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R6)</td> <td>350</td> </tr> </tbody> </table>			時期	数	設定時 (H30)	310	実績値 (R2)	128	目標値 (R6)
時期	数											
設定時 (H30)	310											
実績値 (R2)	128											
目標値 (R6)	350											

●基本目標の総括

順調に推移：2指標 努力が必要：4指標

「将来を見据えた魅力的なまちをつくる（基本目標6）」においては、数値目標の「行政サービス満足度・重要度アンケート調査結果のうち、満足度の平均」やその他のKPIで「努力が必要」とされるものが多いことから、先端技術の活用等をし、将来にわたり誰もが活躍できる魅力的な地域社会を目指した取組を実施していく。